

本論

本研究の目的

本研究の対象は RES-3 予測式で用いられている 4 つのテストバッテリ一のうち BI に限定する。その上で以下を目的とする。

第 1 に RES-3 における BI の予後予測式の T 病院での適用可能性を検討し、RES-3 を利用する施設用に予測式改訂の意義を明らかにする。

第 2 に BI の機能回復に関連する主要な要因を明らかにし、この要因が ADL に与える影響を実証的に検討する。同時に入院 6 ヶ月時において BI の主要な関連要因が消失するための条件を明らかにし、判別式を作成する。

第 3 に脳血管障害患者の機能回復過程を類型化し、類型別特徴と判別要因を明らかにする。

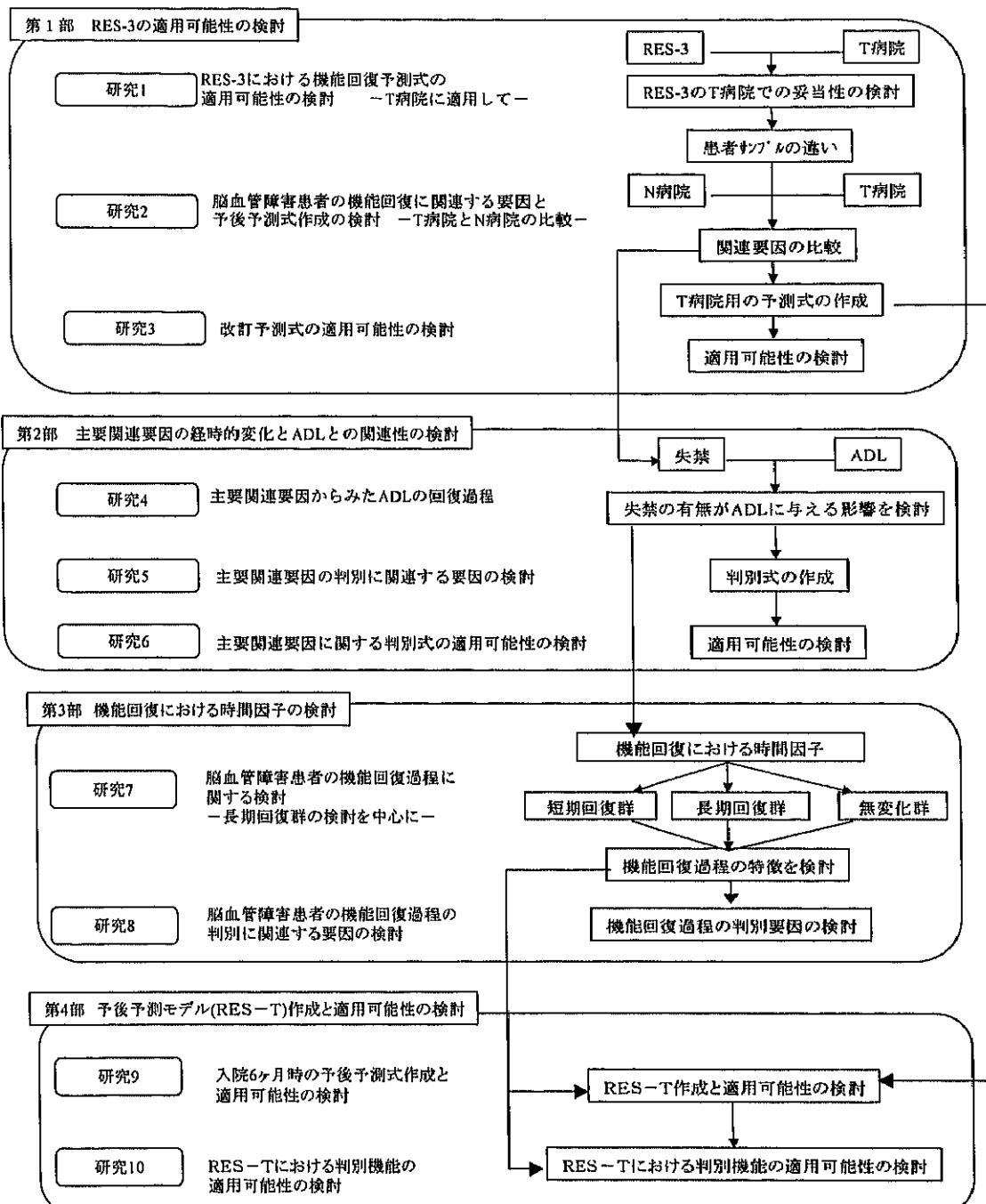
第 4 に脳血管障害患者の機能回復期間とその機能的帰結を予測する、予後予測モデル（RES-T）を作成する。

本研究の構成

本研究の構成は図 0-1 に示すとおりである。

脳血管障害患者の機能回復過程と予後予測に関する研究

一長期回復群の検討を中心に一



図O-1 本研究の構成